

南消防署本町出張所（第9分団）改築整備事業の進捗状況について

南消防署本町出張所（第9分団）改築整備事業については、藤沢市公共施設再整備基本方針及び藤沢市公共施設再整備プランに基づき、市民の安全・安心を守る消防庁舎の機能向上のため、現庁舎敷地に建替えを計画しております。建設工事中の消防力維持のため、「旧藤沢公民館跡地」に仮設庁舎を建設し、令和6年3月13日に移転、運用を開始いたしました。

令和6年6月市議会定例会総務常任委員会では、昨年から着手した設計業務の進捗状況として、基本設計の概要とこれまでの経過、また、今後のスケジュール等をご報告させていただくものです。

1 これまでの経過について

平成26年11月 第1次公共施設再整備プラン（短期プラン）に位置付け
令和元年9月、10月 住民説明会の実施
令和2年3月 市議会定例会総務常任委員会報告
令和4年5月 仮設庁舎用地「旧藤沢公民館跡地」埋蔵文化財試掘調査を実施
令和6年3月 仮設庁舎へ移転、運用を開始

2 過去の住民説明について

令和元年9月、10月 住民説明会
令和4年 試掘調査前回覧板・戸別訪問
令和5年 仮設庁舎建設前回覧板・戸別訪問、本設測量調査前戸別訪問

3 基本設計の概要について

（1）計画概要について

設計条件として、大規模地震等に強く、災害対応施設として高い機能を発揮できる庁舎としているほか、環境にやさしい庁舎、街なみに配慮した庁舎などを掲げています。

【主な計画概要】

RC造3階建て、敷地面積800.26㎡、建築面積492.15㎡、
延べ面積934.90㎡、最高高さ13.90m、最高軒高13.20m

（2）諸室等の配置について【資料2（1）】

過去に建設した庁舎や消防局庁舎建設等検討委員会での意見を参考に諸室面積や機能を検討し、また、相関関係による配置を踏まえ、各階の諸室等を配置しました。

車庫の前面を広く確保し、また、迅速出動のため、車両4台を並列で配置できる車庫とし、女性職員エリアを含めた居住スペースは2階、分団待機室は3階に配置しております。

- ・ **1階** 車庫、ロッカー、救急隊員用仮眠室等
- ・ **2階** 執務スペース、食堂、厨房、更衣室、仮眠室、浴室等
- ・ **3階** 分団待機室、会議室兼研修室、トレーニング室、機械置場等

その他、敷地南側に訓練用及び来庁者用駐車スペースとして空地を確保、また、1階から3階まで連続した立体的訓練用バルコニーを配置しております。

加えて、脱炭素社会に貢献し、持続可能な環境を実現するため、「ZEB Ready」の水準を満たす計画としており、創エネルギーの取り組みとしては、屋根部分に太陽光発電パネルを設置しております。

(3) 立面計画について【資料2(2)～(4)】

外観につきましては、当該敷地が、旧東海道藤沢宿街なみ継承地区内にあることから、景観審議会に諮問を行い、有識者の意見も拝聴しながら、歴史ある街なみに配慮した計画としています。

古い様式や意匠を直接的に表現しすぎず、和の趣を感じさせる材料を採用しながら現代の街なみへの調和も目指したデザインとしました。南側には、火の見櫓をイメージした屋外階段を設置し、消防施設としてのアイデンティティを表現しています。

(4) 工事費について

設計業務委託費用としては、56,650千円(2年の継続費)、解体工事費用としては、57,925千円となります。その他、本事業に付随する費用としては、各種調査費、仮設庁舎関係費用などがございます。

また、庁舎建築に係る概算の建設工事費としては、基本設計の中で現在のところ7億7千万円と想定しています。建設工事費の詳細については、今後、実施設計を進める中で精査していきます。

4 今後のスケジュールについて

- | | | |
|---------|--------|-------------------------------|
| 【令和6年度】 | 6月以降 | 既存庁舎解体工事
解体工事終了後、埋蔵文化財試掘調査 |
| 【令和7年度】 | 7月～12月 | 埋蔵文化財本調査(予定) |
| 【令和8年度】 | 6月 | 建設工事着手(令和9年8月まで)(予定) |
| 【令和9年度】 | 9月 | 供用開始(予定) |

以上

【事務担当】 消防局 消防総務課 企画担当